

平成19年8月31日

墨田区議会議長
中村光雄様

議会のあり方検討会
座長 桜井浩之

議会のあり方検討会第1回中間報告について

議会のあり方検討会の検討項目のうち、「予算・決算特別委員会の開催方法」についての意見がまとまりましたので、第1回の中間報告として別紙のとおり報告いたします。

議会のあり方検討会第1回中間報告

1 検討項目

「予算・決算特別委員会の開催方法について」

2 検討日時

第1回 平成19年8月 7日(火) 午前10時から

第2回 平成19年8月21日(火) 午前10時から

第3回 平成19年8月28日(火) 午前10時から

3 検討委員

桜井 浩之(座長)、樋口 敏郎、山本 亨、福田 はるみ、千野 美智子、大越 勝広、高柳 東彦、田中 哲、あそう あきこ

4 報告内容

(1) 開催方式について

従来どおりの方式で開催するものとする。

(2) 委員数について

従来どおり、議員定数の二分の一とする。

(その他の意見：全員を委員とし、内容に応じて委員を入れ替える。)

(3) 発言時間について

検討会としての結論は得られなかった。

(主な意見：従来どおり委員1人あたりの質疑時間を基本として、会派所属委員数に応じて比例配分する。会派の基礎時間を設けるべき。少数会派の発言時間を増やすべき。少数会派だけ発言時間を増やすべきではない。総括質疑とは別に各会派の幹事長と区長が直接議論する「しめくり総括」の時間を新たに設けるべき。「しめくり総括」は必要ない。総括の使い方は各会派の考え方だ。委員長は質問しないのだから委員長分の持ち時間は会派の持ち時間とすべきでない。)

(4) 審査日数及び日程について

審査日数は従来通りとし、日程については、款別審査の中間に1日調査研究日を設けるものとする。

(その他の意見：調査研究日は必要なく、従来通りとする。通年で予算・決算特別委員会を開催する。)

(5) その他

予算・決算特別委員会の資料として、事業ごとに概要、予算・決算額、財源内訳等が一目で分かるもの(例えば、江東区が作成している「予算ノート」)を作成し、提供するよう、理事者に強く要望する。